



～禁煙・卒煙のために～



禁煙治療（ニコチン依存症治療）について

患者基準を満たしている方は、施設基準を満たした保険医療機関での初回から12週間にわたる計5回の禁煙治療について、「ニコチン依存症管理料」として保険が適用されます。

詳細につきましては、各医療機関にお問い合わせください。

保険適用の禁煙治療を受けることができる方（患者基準）

次の全てに該当するものであって、医師からニコチン依存症の管理が必要であると認められた方

- (1) ニコチン依存症に係るスクリーニングテスト（TDS）で、ニコチン依存症と診断された方
- (2) 35歳以上の方については、ブリンクマン指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）が200以上の方
- (3) 直ちに禁煙することを希望し、「禁煙治療のための標準手順書」（日本循環器学会、日本肺癌学会、日本癌学会及び日本呼吸器学会により作成）に則った禁煙治療について説明を受け、当該治療を受けることを文書により同意している方

都内の禁煙支援医療機関については、とうきょう健康ステーションHPに掲載されています。

詳しくはこちら→



とうきょう健康ステーション



チェックして
みてね



南多摩保健所
健康づくり
キャラクター
「みなみん」

ニコチン依存症に係るスクリーニングテスト

5項目以上当てはまる場合、ニコチン依存症と診断されます。

質問項目

<input type="checkbox"/>	自分が吸うつもりよりも、ずっと多くタバコを吸ってしまうことがありますか。
<input type="checkbox"/>	禁煙や本数を減らそうと試みて、できなかったことがありましたか。
<input type="checkbox"/>	禁煙したり本数を減らそうとしたときに、タバコがほしくてほしくてたまらなくなることがありましたか。
<input type="checkbox"/>	禁煙したり本数を減らそうとしたときに、次のどれかがありましたか。 (イライラ、神経質、落ち着かない、集中しにくい、ゆううつ、頭痛、眠気、胃のむかつき、脈が遅い、手のふるえ、食欲または体重増加)
<input type="checkbox"/>	上の症状を消すために、またタバコを吸い始めることがありましたか。
<input type="checkbox"/>	重い病気にかかったときに、タバコはよくないとわかっているのに吸うことがありましたか。
<input type="checkbox"/>	タバコのために自分に健康問題が起きているとわかっているのに、吸うことがありましたか。
<input type="checkbox"/>	タバコのために自分に精神問題（※）が起きているとわかっているのに、吸うことがありましたか。
<input type="checkbox"/>	自分はタバコに依存していると感じることがありましたか。
<input type="checkbox"/>	タバコが吸えないような仕事やつきあいを避けることが何度かありましたか。

※ 禁煙や本数を減らした時に出現する離脱症状（いわゆる禁断症状）ではなく、喫煙することによって神経質になったり、不安や抑うつなどの症状が出現している状態